

みなみかぜ



南台病院 広報誌

平成 30 年 4 月 Vol.22

MRI と CT の比較について

放射線科

CT 検査時に患者様から MRI と CT の違いについてよく聞かれます。

その違いについて、下記の表により比較してみましたので、参考にしてください。

	MRI	CT
撮 影 原 理	磁気の共鳴	X 線の吸収
放射線の被曝	なし	あり
撮 影 時 間	30 分程度	数分
長 所	早期の脳梗塞の描出に優れる。 脊髄、関節、骨盤腔内臓器の描出に優れる。 放射線被曝がなく組織間コントラストに優れる。 撮像法を変えると病変の質的評価ができる。 造影剤無しで血管の画像が得られる。	撮影時間が短く、頭部外傷、脳出血、くも膜下など頭部救急病変の描出に優れる。 胸部、腹部の撮影が短時間に行える。 骨の情報が得られる。
短 所	体内に金属が入っている方は、検査ができない場合がある（手術時期、材質により）。 閉所に弱い方は検査時間が長く難しい。 検査中大きな音がする。	放射線被曝がある。

「無料なんでも健康相談」のご案内

日 時：毎週水曜日、午後 3 時～3 時 30 分

場 所：南台病院 外来診察室

※事前の予約は不要です。受付窓口又は外来看護師まで、お気軽に声をお掛け下さい。

実施日	担 当	実施日	担 当
4 月 4 日(水)	看護部	4 月 18 日(水)	勝見副院長
4 月 11 日(水)	健康管理室	4 月 25 日(水)	出張なんでも健康相談会

※4 月 25 日（水）は、上水新町地域センターにおいて開催（15 時～16 時）

※過去の相談内容：介護保険の申請方法について

家族が認知症となり、どう関わっていけば良いか

特養と老健とはどのような違いがあるのか

など

コレステロールを下げる3つの食べ方を見直してみよう！

食事サービス科

運動よりも食事の影響を受けやすいので、食生活を見直すことが重要です。

1 余分な油脂をとらない	
減らす	揚げ物を食べる回数を減らす。 間食は、バターやクリームなどの油脂を含むお菓子の量を減らす。 ショートニングなどの加工油脂を使った加工食品を減らす。
増やす	魚を食べる回数を増やす。（3食のうち1食は魚を主菜に）
変える	肉は脂身の多い部位よりも、赤身を選ぶ。 調理に使う油は動物性の油脂よりも、植物油を選ぶ。 お菓子は洋菓子よりも、なるべく和菓子を選ぶ。
2 食物繊維をたっぷり取る	
増やす	野菜の量を増やす。（1日350g以上が目安） 大豆や大豆製品の量を増やす。 海藻やきのこの量を増やす。
変える	主食は、より精製度の低い穀類や雑穀入りを選ぶ。 （ごはんなら玄米や胚芽米、パンなら全粒粉や胚芽パンなど）
3 抗酸化ビタミンをたっぷり取る	
増やす	緑黄色野菜の量を増やす。（1日120g以上が目安）

当院では毎週土曜日の午前・午後とも外来診療を行っております。ご利用下さい。

診療受付時間（月曜日～土曜日） 午前：8時30分～11時30分 午後：1時～4時

社会福祉法人黎明会 南台病院 〒187-0032 東京都小平市小川町1-485
電話番号：042-341-7111（代） ホームページ：<http://www.minamidaihp.jp/>